

# 自分に負けない 強さを育てたい

広島県安芸郡海田町にあるボクシングジム「NPO 法人 フリースクール・グロービー」。幅広い年代の男女がボクシングを通じて自分と向き合い、心を鍛えています。

NPO 法人 **フリースクール・グロービー**

おすすめ! NPO/  
NPO  
活動レポート  
vol.1

NPOとは、地域が抱えるさまざまな問題解決に取り組んでいる民間の非営利団体のこと。(ろうきん)は、そんな活動を応援、毎回紹介します!

## 真剣に叱り、真剣に褒める。 子どもの成長が何よりの喜び

「NPO法人 フリースクール・グロービー」は、誰でも通うことができるボクシングジム。現在は5〜63歳の幅広い年齢層の64名が、心身の強化や健康維持などのため、週に3〜4回トレーニングに励んでいます。「元々はボクシングスクールとして16年間活動していたんですよ。一時期は閉鎖の危機に陥ったこともあったんですが、生徒たちが河川敷で自主トレーニングをしている姿を見て、継続を決意しましたね。」と話す代表の丸亀さん。現在はボクシングの指導に加え、子どもたちの学校生活もサポート。宿題や課題ができる部屋を設け、丸亀さん自らも講師として指導しています。学校や家庭で話せないことを、ここでは話してくれる子どもも多いとか。非行・不登校・いじめなどの問題を抱えた子どもも多く、一人ひとりの心と真剣に向き合っています。高校になんか行かないと言っていた中学生がグロービーに通ううちに変わっていき、高校に進学し、学級委員長になったということも。ボクシングを通じて心の弱さを乗り越えることができると、自分に自信が付き、生活も変わってくると丸亀さんは言います。また、時間を守る・思いやり・伝える力など、社会の中で必要な能力を身につけさせることにも、力を注いでいます。「子どもの成長が見られた時、立ち直る姿を見た時にやりがいを感じますね。子どもたちが無事に学校を卒業してくれることが、一番の幸せです。」と丸亀さん。時には優しく、時には厳しく、地域ぐるみで子どもを育てるといふ昔ながらの環境が、ここにはありました。



代表 **丸亀 恭敬**  
まるがめ やすのり

高校、大学とボクシング部に所属。その後広島県アマチュアボクシング連盟 常任理事など、他の仕事と掛け持ちをしながらも、グロービーでの活動に奮闘している。

▶「サンドバッグが楽しい!」と笑顔で練習に励む黒田くんは、小学3年生。  
▲2012年に広島で開催される「中国ブロック 高校選抜大会」出場権を獲得し、山口県には続き、2回目の全国大会出場をめざす、ライトフライ級の東森くん。高校1年生。軽快なステップと真剣な表情は、見ているこちらまで息をのみませます。



試合は絶対  
勝つてやる!



努力が詰まった  
グローブだよ。

棚にきれいに並べられたグローブやミット。ジムの掃除や管理も、自分たちで責任を持っています。



ボクシングに欠かせない、「グローブ」。汚れや傷は、日々の練習の証しです。



試合中に頭を守る、「ヘッドギア」。頭をしっかりと守るために、2年に1度新しくするのだそうです。

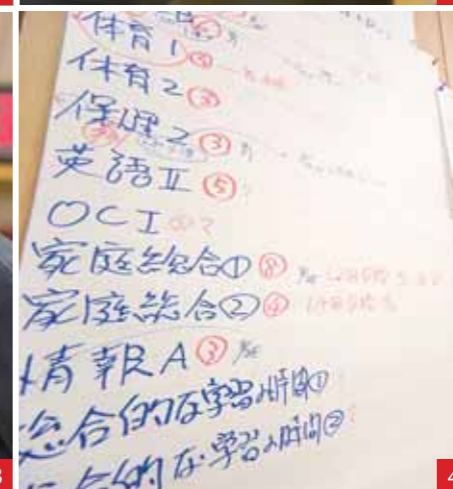
## 全国大会に向けて、 一生懸命 練習中!

広島県女子ボクシング大会(演技の部)で優勝した佐々木まいさん。高校2年生。中元芽生さんとともに、2012年に広島で開催される「全日本女子ボクシング選手権大会」広島県代表権を獲得!



1 子どもが勉強をするために設置された、ジム2階の学習教室。机とイス、ホワイトボードなど、学校の教室と同じような設備を整えています。2 ダイエットと健康維持のために参加しているという山崎さんは、ボクシングを始めて3カ月で、5kgの減量に成功!「おう!おう!パンチ!」というコーチの声に合わせて、ミット打ちに励みます。3 週に3回ほど指導に来ている原田コーチは、グロービーに通う子どもたちの保護者でもあります。4 学習教室に通っている子どもたちは、学校の宿題や課題の、目標と結果を壁に貼り付けた紙に記入して、先生と共有します。

フリースクール・グロービーには、「中国ろうきんNPO 寄付システム」を通じて、ろうきん利用者からの寄付金が配分されました。「中国ろうきんNPO寄付システム」についてくわしくは、本誌19ページをご覧ください。



取材協力/  
NPO法人 フリースクール・グロービー  
広島県安芸郡海田町東昭和町6-13  
☎082-823-8949

グロービー

検索